

1、グループホームあっと施設見学

リビングでの楽しみや入浴の様子、ショート利用の様子などをお伝えする

2、簡単に自己紹介

ホーム入居者の方が前日に仕込んだゼリーと飲み物でカフェタイム

3、グループホームあっとの紹介 ～こんな風に暮らしています～

写真を見ながら、あっとでの楽しみな時間の様子なども紹介していく

4、ゆっくりお話しタイム♪ ～それぞれの立場から～

入居者…世話人とお話することが楽しい。リビングやお部屋でその日の気分とその時の場所で。

世話人…世話人によってお話の内容も変わって、気分も変わっているようです。

入居者…部屋ではネットフリックスを見ている。訪看も来る。

管理者…身体のこと、週に2回お薬のこと、自身の話などいろいろ支えてくれている。

地域……お仕事は何をされているんですか？

入居者…すてっぷはタカギ繊維さんのキャンパス、ピック、ボンドを棒につけて袋に入れるをしている。

他の仲間は箱折り、草引きなど。

地域……すてっぷは2軒隣りにあって、会議などで使わせていただいているが、仕事など知らなかった

管理者…エアロビや創作活動もしていますね。お正月はしめ縄を作りました。

地域……道中で出会ったらあいさつなどもして親しくなってきたと感じる時がある。

世話人…困っていることは？

入居者…あるけど、今は言えない。

サビ管…うまく作れたメニューは？

入居者…なすグラタンを作ったことがあった。うまくいった。

管理者…お料理以外でしたいことは？

入居者…ミシンをやりたい。すてっぷでやっている。コーヒーの消臭の袋をミシンで作っている。

家族……なんでもできるんやね

副所長…将来の夢は？

入居者…一人暮らしがしたい。

家族……ここで慣れて一人暮らしという方が数名いて、それが希望なのかな？

入居者…あこがれる。

家族……話を聞いていたら、娘はどうやろう？ここでいろんなことができたらうれしい。一人暮らしはまだできないと思うが、誰かがいるから安心していると思う。一人暮らしは「ダメ」と娘。

管理者…一人暮らしもいいし、みんなで暮らすのもいいですね。

家族……あっとはどのように暮らしているかよく見えるので安心している。本人が言葉で言えないのでこういう場などで話が聞けてよかった。ここでよかった。娘も「入居者が好き」と言っている3月7日で丸2年。お誕生日にお好み焼きと唐揚げを作ってもらって喜んでいた。親も年齢を重ねていくので365日にしてもらえたらと希望がある。見てもらえるところがあると安心して死ぬ。兄弟にも生活がある。グループホームの方がお互い安心できる。

管理者…週末は体制が厳しくて、お家へ帰ってもらっている。

家族……特にあつとはあったかい。

世話人…はじめは環境が変わり不安だったと思うが、頑張っはりました。

家族……私が質問すると「しらん」「しらん」で返事。母には「しらん」で通している。

入居者…わかるわ。(笑)

副所長…娘さんの気持ちわかる？

入居者…私も家で「しらん」っていう時ある。

管理者…世話人さんと親の会う機会があってもいいのか？参加家族の娘さんが水筒を忘れていた仲間がいて「私が持っていく」と持っていった。

世話人…照れくさいことが大きい。時々ニコッとしてくれる。すぐに話したい時と、ゆっくりしたい時と使い分けている。どの世話人が入るか頭に入っている。

家族……母の予定などをタブレットでよく見ている。天気予報もよく見ている。私の話は伝わっているのかな？私はあつとのことは全然伝わってこないのよ (笑)

世話人…お母さんの予定（家族会、映画会）やテレビの話などよくお話される。

家族……今、タブレットやゲームも何も持ってっていない。テレビも部屋にないしどう過ごしている？

世話人…CDを流してうたったりしている。

地域……私は高齢のところにいるので、はじめて知ることばかり。世話人が泊っているのをはじめて知った。どういつながり？どういった方が世話人に？

世話人…今までは学生さんが多くて、学生さんが知り合いを呼んでと広がっていった。私は、聴覚のホームを4年ほど勤めてそこが閉まるので、主人（ワークの男性のホームまあるを10年ほど勤めている）に女性のホームを聞いてもらった。あつとに来て楽しいです。

副所長…賃金が安いので、ホームに限らずみんな熱意をもって務めてくれている。

世話人…すごく幸せな気分。世話人2人いるので、仲間の支援ができ、世話人同士も支えあいながら働ける。職員も対応してくれて、連携できている。ここは仲間が同じ法人なので情報を共有・連携しやすい。楽しいし、体調もいい。笑ってしゃべって朝日を浴びて。

地域……楽しく過ごされていると感じました。いい方々の支援を受けているのだと感じました。

世話人…いろんな対応をこれでいいのかと思いつながら、よりよい支援をしていけたら。

副所長…福祉の現場は労働は厳しいけれど、私たちも幸せを感じながら働いている。再確認した。

世話人…もらっているものも多い。仲間とみんなで笑いあって幸せと思えた。

地域……聚楽は、1階がデイ、2階が小規模多機能（泊って通って訪問して）、3階がヘルパー。日々は送迎、訪問したりしている。高齢なので認知の方も多く、また一人の方も多。できないところをお手伝いしてその人らしく。地域定着型なので、地域に寄り添って。なかなか業務がいっぱいなのだが、。上京ワークのイベントもいっしょにしたりと協力し合っていきたい。

家族……利用していくことになるが、待機とかが多いのか？

地域……有料などの施設がいっぱいある。特養は待っている人がいたりするが、選ばなければすぐに入れるというのが現状。お金はそれなりにかかるが。なので、待機はあまり聞かない。聚楽の2階は人数も少なくなってきた。経営が大変。1階認知デイで「認知」という言葉でなかなか来られない。本人が「認知」という言葉を避けたい。高齢だけの法人は経営が厳しい。

副所長…障害の方の利用はありますか？65歳から高齢分野になるので。

地域……デイにはいらっしやる。相談があれば乗っていくという感じ。障がい分野で手厚く過ごされているが、65歳からは介護保険でいってしまう。

副所長…入居者さんのお母さんも利用している？

入居者…83歳か84歳。訪問看護でお風呂屋やリハビリ訓練をやってもらっている。

副所長…イベントでは森田さんとよくいっしょにさせてもらうが、なかなか施設や高齢分野のことを聞けないので、この機会はよかった。

5、まとめ

管理者より「今日は短い時間だったが、ゆっくり話せて、おいしいゼリーも作ってくれて、感動したり働くことの気持ちを改めて確認できたり、障がい・高齢分野の話が聞けて、交流できてほんとにいい会になりました。ありがとうございました。」